

持経宿、平治宿の巡回整備とお盆の準備

◇実施日 7月31日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、湯川一郎、濱野兼吉、畑林清子、

生熊千満子、大江加予子・徳子、高階美根子、梶野照雄、志岐敬、今中三恵子、村吉光夫 (13名)

7月に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大が続き、連日感染者数の更新が報告されている。そのためか大峰を訪れる登山者も激減し、各小屋にあった予約も殆どがキャンセルになってしまった。



土止め用の板



平治宿へ向かう



平治宿到着

こんな状況下でも維持管理作業はキャンセルできない。今回、村吉、梶野、志岐、今中の奈良、大阪組を含め13名の皆さんが参加して

くれた。

持ち込む資材が多いので、児嶋さんにトラックの提供をお願いし、3日前に調達・積込みを行った。

午前8時半少し前に全員がスポーツ公園駐車場に揃う。本日の作業内容を説明し、沖崎、村吉、梶野、児嶋トラックの4台で池郷林道へ乗り入れる。持経宿までに2〜3回落石を除去したが、概ね普段通りで、55分で持経宿に着いた。

持ち込んだ資材を小屋前のテーブルに集めて荷分けする。コンクリートブロック12個、1.8mのコンクリート板2枚、岡室進さんから頂いた段差材20枚と薪、加えて村吉さん持参の半割丸太5本。これらの内、ブロックとコンクリート板は持経宿用で、それ以外の物と持経宿にデポしていた木杭を加え、各自背負子に載せて平治宿に向かった。

児嶋さんはストーブ焚口のオイル缶交換のため持経宿に残った。暑さと重荷で休憩回数が増え、75分かかって平治宿に着いた。大江加予子・徳子、畑林清子のお三方に持経宿の清掃と食器類の整理。お堂と千年松のお堂の御供交換などのお盆準備をお願いしたので、平治宿到着後すぐに引き返された。

平治宿小屋前に運んできた段差材や杭、工具類を並べて作業の準備をする。梶野、村吉、志岐の3人に水場径下段、水槽の上付近の改修を担当していただき、沖崎、濱野、湯川の3名で迂回路手前部分を改修する。生熊、高階、今中の3名に小屋内の清掃をお願いした。

作業終了時刻を12時30分と決めて、資材・工具を手現場に降ろす。沖崎組は小屋に近い一番上から作業を始めた。上の方は勾

配もゆるく足元もしっかりしている。地面も岩は殆ど無く土ばかりなので木杭もしっかり打ち込めて作業が捗る。12時20分頃に15段ほどが完成し、迂回路の入り口までが完了した。

下方の梶野組は苦戦中、急勾配の上に岩だらけで木杭は勿論、鉄筋も打ち込むことが出来ず、やむなく岩を迂回する形で無理やり道らしき形を整えた。岩の部分は2.5mの長さが2ヶ所。それ以外の急傾斜部分は4mが2ヶ所ある。これらの場所は行仙宿の水場径の様な階段を設置するしか解決方法が無いように思えるが、どのように階段を固定できるかが最難問だ。

水場の水流は多く、水槽に落石も殆ど無かった。暫く底浚えしていなかったのも泥が大量に溜まっていた。全て掻き出して掃除した。ミミズは一匹もいなかった。



水槽を清掃

補修完了した段差

終了予定の12時30分、志岐、村吉さんが小屋に戻ってきた。急傾斜で足場が悪い上に岩だらけで鉄筋も打ち込めず、サジを投げ

たようだ。水槽の掃除に降りた梶野君も、もうすぐ上がってくるだろう、とのことだった。

小屋に戻って昼食の後、持経宿に引き返す。小屋内は女性陣の手で拭き掃除までされて、見違えるようになっていた。

持経宿途中の千年松のお堂はきれいに清掃され、檜や御供も交換されてお盆準備は整っていた。

午後2時半前に持経宿に帰着する。児嶋さんと女性陣3人は予定の作業を終えて休憩中だ。



本日の参加者

テーブルをコンクリート板に交換

いつもは持経宿に着いてすぐに下山するのだが、午後3時まで少し時間があるので、持ってきた湯川君寄贈のコンクリート板をテーブルに仮置きしてみた。現在のブロック足にブロック半分を足す必要がある。児嶋さんが石ノミとハンマーでブロックを半分に分け、既存のブロックに継ぎ足してテーブルの脚が完成。上に2枚のコンクリート板を置くと腐らないテーブルが出来上がった。コンクリー

ト板は一枚が30kg位の重さがあるので十分安定している。持経宿改築時に造ったテーブルは木製だったので、7年を経てあちこちが腐食していた。今度は全てコンクリートなので腐る心配はない。

これで本日の作業は終了。村吉さんは丸太に防腐剤を塗るために持経宿に残り、他は下山した。下山直前にゲートに車を置いた登山者が現れ、この登山者を梶野車に乗せてゲートまで運んだ。一緒に歩いていた相棒は嫁越峠から前鬼に下山したらしく、前鬼まで迎えに行くそうだ。

皆さんお疲れ様でした。

8月5日、我々が下山した後、持経宿を通過した登山者に村吉さんが対応され、そのお礼が掲示板に投稿されました。

(記：沖崎)

大峯奥駈道全山縦走(逆峰：吉野から熊野)の途中、7/31(日)に平治宿に泊まりました。当日は既に食糧が乏しくなっており下山も止むないかと半ば覚悟していましたが、持経宿で整備作業をされていた御仁に食糧をお分けいただき、先へ進むことができました。

平治宿では食糧を見つけられませんでしたので、翌日に行仙宿でも以下の物を頂戴しました。・サトウのごはん・さんま柚子味噌煮缶詰・缶入りパン、各1・入口前のタンクから水2ほどトイレを使った

ことも含め、1千円を志納箱にお納めしました。なお、8(月)時点での行仙宿の食糧の残りは、・サトウのごはん2・缶入りパン多数でした。

その後、葛川辻、玉置山を経て、無事(水)に熊野本宮へ下りました。お陰様で、長患いの娘が少しでも良くなるようにとの願掛けで思い立つ

た大峯奥駈道縦走を完歩することができ、感謝に堪えません。本当にありがとうございました。

行動タイム

スポーツ公園駐車場 08:35→09:30 持経宿 09:45→10:40 中又尾根分岐→11:15 平治宿 13:10→14:10 持経宿 15:00→15:50 スポーツ公園駐車場